

# 札幌学院大学

商学部	人文学部	法学部	薬学部
商学科	人間科学科	法律学科	薬学科
経済学科	芸術美術文教科		

Sapporo Gakuin University

# 学園広報

1989. 7. 15 No. 43

編集・発行 学校法人 明和学園  
札幌学院大学 庶務課  
〒069 北海道江別市文京台11番地  
電話 (011)386-8111

## BENTLEY COLLEGE

### 国際交流部長来学

昭和六十三年度本学園の事業計画である「国際交流プログラムの具体化と推進」を自ら指し予備調査を行い、林善之、常務理事と松田昇一職員は、北海道と歴史的に縁の深い米国マサチューセッツ州ボストン近郊の三大学を訪問した。その結果、ビジネス教育で名が高く、国際交流に積極的で、三千人収容の学生寮が利用できるベントリー・カレッジとの交流の可能性を探ることになった。

本年四月十三日、ベントリー・カレッジの国際交流部長 J・B・ブッキンワイナー氏が本学を訪れ、双方の意見の交換が行われた。夏期休暇を

### 国際交流のニーズに応えて

昭和六十三年度本学園の事業計画である「国際交流プログラムの具体化と推進」を自ら指し予備調査を行い、林善之、常務理事と松田昇一職員は、北海道と歴史的に縁の深い米国マサチューセッツ州ボストン近郊の三大学を訪問した。その結果、ビジネス教育で名が高く、国際交流に積極的で、三千人収容の学生寮が利用できるベントリー・カレッジとの交流の可能性を探ることになった。

五月、所用で米国に滞在中の小林庸吉理事長がベントリー・カレッジの卒業式に招かれた。その折、「両大学は、教育および知育上の協力を進め、互いに努力してよく用いよう」という旨の協約書にサインし、H・H・ボナパルト学担当副学長との間で交わした。

これを機会に、本学学生の多様な形態の国際交流をはかろうと検討中である。



来学されたJ.B.ブッキンワイナー氏(右)

## 企業と大学との懇談会

札幌学院大学主催



入江尚弘氏の講演

平成元年度の就職戦線は、前年度を遙かに上回る強い求人需要が寄せられている。本学でも、数度のガイダンスに加えて、九〇社参加の「業界研究会」を開催し、また、「企業と大学との懇談会」が東京と札幌で開催された。

平成元年度の就職戦線は、スタートから異常な展開を見せている。「売り手市場」といわれた前年度を遙かに上回る強い求人需要が連日、就職課に寄せられている。

六月末までの求人票は、二〇〇件を超え、最高記録の前年同期の六七〇件を大きく上回り、また就職課への来訪者も四月以降六〇〇名を数えるなど企業の求人活動のテンポの早さが目につく。就職協定(八月二十日会社説明会、会社訪問解禁)をしり目に五月中旬ごろから札幌市内では数多くの会社説明会が開かれており、案内ポスターの掲示依

## 本学への求人要請高まる 各分野での卒業生の活躍を反映

「業界研究会」を開催した。一方、一昨年から始めた東京での「企業と大学との懇談会」は、同窓会の協力を得て本年で第三回を数え、多くの企業人事担当者の参加で盛大に開催することができた。

なお札幌での「企業と大学との懇談会」は、七月六日、京王プラザホテル札幌にて一、二社の企業の参加により開催された。このように今年度は学生にとっても恵まれた就職戦線ではあるが狙いの本命を手中にするためには「売り手市場」に安易に惑わされることなく、じっくりと目標を見据え自信をもって活動することが必要である。

また本学としても、この好機を捉えて企業との連携を一層強化して、学生の就職分野の質的向上、拡大を図ることが、将来にとって極めて重要なこととなる。

### 企業との協力関係強まる

#### 企業と大学との就職懇談会開催

今年で、三回目を迎えた東京開催の「企業と大学との懇談会」は、去る六月九日東京ガーデンパレスを会場に実施された。この懇談会は、同窓会の協力も得て、日頃お世話になっている本州企業の方々、大学の教育方針、就職指導についての理解を深めていただくとともに、企業側からの大学への要望、提言等を伺うものである。

今年々々参加企業も増え、今年たはあいにくの雨の中を九〇社の一〇〇名の方々が参加された。

開会に先立ち、在学部長は、こうして首都圏企業の本学への理解の深まりに謝辞を述べ、大学の教育方針、就職指導の深まりに謝辞を述べた。

報学部の新設および経済学科の学部独立構想」にも言及して参加企業各位に今後一層のご協力を賜りたい旨を要請した。

入江氏は、学生時代の思い出から話を始められ、人との出会いの中でここまでやってこれたこと、フレッド・ラングハマー氏との出会いについて触れられた。そして、「どうせやるなら日本を制圧しよう」と徹底的にターゲットとする女性のニーズ、価値観を調べあげ、その結果、「それまでの化粧品業界でやっていたのと同じ戦略で、資生堂の牙城と言われたこの業界に食い込んで来た」と、自分自身の人生を語りながら話された。

今後の戦略として「売上のためのキャンペーンは、やらないうで、カウンセリングのためのキャンペーンを行って、その内容においてインセンティブを向上していきたい」と展望を語られた。

第二部の懇談会は、山田理

事の後、同窓会青山東京支部長の挨拶の後、伊藤藤園の伊藤部長の乾杯の音頭で始まった。就職部長を始め就職委員は、長蛇の列が出来ると企業との名刺交換に追われ、今年も企業側の採用意欲の高さが見られた。

父母の理解が不可欠であると考えられることから、昨年から開催されているものである。今回は、四年次生の対象学生二〇五名の内、一〇〇強に当たる四二名の父母が参加されたが、遠くは、仙台、岩手を含む東北より五名の父母が参加されるなど、就職に対する関心の高さが伺われた。

当日は、見澤法学部長、佐々木就職部長の挨拶ののち、企業からマツダクレジット㈱札幌支社長 射守矢佑吉氏をお迎えし、「大学生の就職とは……」との演題で約一時間のご講演をいただいた。企業の求める人材等、大学生を採用する立場からの貴重なお話しに、父母の頷く姿が多く見られた。

引き続き、就職課長より就職活動にあたっての具体的な説明ののち、法学部二名のゼミナール担当教員による個別面談を一人十五分程度の予定で行われたが、熱心な相談が相次ぎ、予定の時間を一時間オーバーして、会は午後六時に終了した。

## 就職対策 父母懇談会開催される-法学部-

### 道外からも熱心な父母の参加

早期化する今年度の就職戦線の中、五月二十日午後二時から学内において、第二回「法学部就職対策父母懇談会」が就職部並びに法学部就職対策委員会の共催で開催された。この父母懇談会は、他学部比べて歴史の浅い法学部の就職対策として、道内外有力企業への挑戦のためには

4月4日	入学式
7日	合宿オリエンテーション
8日	1シオン
8日	二部合宿オリエンテーション
9日	9シオン
10日	授業開始
30日	体育大会
5月2日	開学記念日
4日	学園創立記念日
6月15日	父母懇談会
16日	二部定期試験
17日	二部定期試験
7月21日	二部定期試験
27日	二部定期試験
21日	定期試験期間
31日	二部サマーカーニブ
29日	二部サマーカーニブ
30日	二部サマーカーニブ
8月1日	夏期休業開始
10日	夏期休業
14日	夏期休業
16日	夏期休業
28日	夏期休業
9月2日	追再試験
4日	集中講義
12日	授業開始
14日	前期卒業式
30日	前期卒業式
10月7日	父母懇談会
7日	大学祭
12月8日	推薦入学試験
9日	推薦入学試験
24日	冬期休業開始
29日	冬期休業開始
1月6日	年末年始休業
10日	補講期間
17日	二部定期試験
18日	二部定期試験
24日	定期試験期間
29日	定期試験期間
2月8日	試験入学試験
10日	試験入学試験
13日	追再試験
19日	追再試験
3月8日	編入学等試験
12日	卒業・進級発表
17日	卒業式
19日	試験入学試験
19日	試験入学試験

### 平成元年度 行事日程

### 第3回函館市民講座 講演と音楽の夕べ

- 日時 9月4日(月)午後6時開場・6時30分開演
- 会場 函館市市民会館小ホール(函館市湯川町1丁目32-1)
- 講演 鮫島和子(札幌学院大学商学部教授・農学博士)  
「いま、地球で何が起きているのか」  
「くらしと環境汚染」
- 音楽 ピアノとヴァイオリン名曲集  
藤井一興(ピアノ)  
大谷康子(ヴァイオリン)  
・ドボルザーク「ソナチネ 長調作品100」  
・ショパン  
・ボロネー第6番 変イ長調 英雄 作品53  
・ショパン「幻想即興曲 嬰ハ短調 作品66」  
他
- 入場無料(入場整理券は、社会教育課、商工会議所、市民館、市民会館受付、市内書店・楽器店で8月上旬より取り扱う予定)

### 第13回学術講演会 講演と音楽の夕べ

- 日時 9月29日(金)午後6時開場・6時30分開演
- 会場 共済ホール(札幌市中央区北4条西1丁目)
- 講演 山島正男(札幌学院大学法学部教授・法学博士)  
「目には目を 一法の歩み」
- 音楽 ピアノ・トリオ名曲集  
高垣美加(ピアノ)  
大林修子(ヴァイオリン)  
土田英順(チェロ)  
・メンデルスゾーン  
「ピアノ三重奏曲 第1番ニ短調 作品49」  
・シューベルト「セレナーデ」  
・グリーグ「アノトラのおどり」他
- 入場無料(入場整理券は8月上旬発行予定)



## 教職員紹介

### 新任者

▲教員  
平成元年四月一日付就任  
北原 直 教授



商品学担当  
昭和四十二年北海道大学  
院水産学研究所博士課程退学  
前小樽商科大学助手  
四十九歳  
御室 龍 教授



手形法・小切手法担当  
昭和二十八年愛知大学法経学  
部卒業  
前静岡銀行監査役  
六十四歳  
内田 司 助教授



社会学特講担当  
昭和五十六年東北大学大学院  
教育学研究科博士課程退学  
前東北大学教育学部助手  
三十八歳  
雅井 和弘 講師



マーケティング論担当  
平成元年神戸商科大学大学院  
経営学研究科博士課程退学  
三十歳  
菅原 秀一 講師



英文講読担当  
昭和六十三年北海道大学  
院文学研究科博士課程退学  
三十二歳  
光武 幸 講師



市場調査論担当  
昭和六十三年北海道大学  
院経済学系卒業  
平成元年北星学院大学経済学  
部卒業  
三十一歳  
二口 利昭 講師



広報・入試課職員  
昭和六十一年北海道教育大学  
教育学部旭川分校卒業  
二十五歳  
佐藤 秀之 講師



財務課職員  
平成元年北星学院大学経済学  
部卒業  
三十一歳  
佐々木 洋 教授 新任

### 新学部長

平成年四月一日付就任  
▲商学部長  
宮下 征次 教授 再任  
▲人文部部長  
高岡健次郎 教授 新任  
(学歴)  
昭和四十一年北海道大学  
院文学研究科博士課程退学  
(職歴)  
昭和四十一年五月、昭和四十  
三年三月北海道大学助手  
昭和四十二年四月札幌商科大  
学助教  
昭和五十二年四月札幌商科大  
学教授



電子計算機センター職員  
昭和六十一年北見工業大学工  
学部卒業  
二十七歳  
佐藤 秀之 講師



広報・入試課職員  
昭和六十一年北海道教育大学  
教育学部旭川分校卒業  
二十五歳  
二口 利昭 講師



財務課職員  
平成元年北星学院大学経済学  
部卒業  
三十一歳  
佐々木 洋 教授 新任

### 新部長

平成年四月一日付就任

◆教務部長  
稲村 勲 教授 再任

◆学生部長  
廣川 和市 教授 再任

◆就職部長  
佐々木 洋 教授 新任

◆就職部長  
佐々木 洋 教授 新任



### 横山 末雄氏就任

文泉会(同窓会)会長に

### 札幌学院大学

去る、平成元年三月十八日開催された文泉会平成元年度定期総会において横山末雄氏が前中間明会長のアトを受け、会長に選出され就任しました。横山氏

は、昭和二十五年三月本学の前身である札幌文科専門学院経済学を卒業し、直ちに実業界に進み、長い間、経済活動を続けられてきた。在横山食品株式会社取締役

社長・横山製粉株式会社取締役会長として会社経営に敏腕を振るわれておられます。特に氏は食品業界並びに製粉業界の重鎮として、各界の信用も厚く、本道経済界における指導的人物の一人であります。併せて本学の評議員として卓越した識見と高邁な人格をもって学園経営に貢献されており、また同時に財団法人札幌南地方協会会長、札幌商工会議所常議員の要職にあり、他に数多い会社・団体の役職をお持ちで、各層で活躍されておられます。

### 退職者

▲教員  
平成元年三月三十一日付退職  
鬼丸 吉弘 教授  
方波見雅夫 教授  
後藤 雅子 教授  
山田 正憲 教授  
池野 千白 助教授  
白取 祐司 助教授  
山田 幸俊 助教授  
佐藤テール 講師  
吉田 道子 講師  
(職歴)  
昭和六十三年三月三十一日付退職  
後藤 基  
串崎 浩  
平成年三月三十一日付退職  
藤原 スミ  
橋本 信  
牧野忠四郎

### 卒業生から 絵画の寄贈

吉崎金次郎氏(昭和三十三年札幌短期大学二部商業科卒)から、岩佐又兵衛作の若宮三十六歌仙仙の複製版が寄贈された。

若宮八幡宮で発見された三十三歌仙仙は、浮世絵の元祖といわれる岩佐又兵衛の、古典大和絵への造詣のほどを示す優美な作品である。寄贈されたものは、発見者中山喜一朗氏の解説で全図複製され、若宮三十六歌仙保存会より発行されたものである。寄贈された絵は、本学図書館で所蔵している。

## 1,236名の新入生を迎えて 平成元年度入学式

四月四日、午後一時から北海道厚生年金会館において平成元年度入学式が挙行了された。今年度の入学者は、商学部六九八名、経済学部二九九名、人文学部一七九名、人間科学部一八八名、英語英米文学部六二名、法学部二五三名、商学部第二部一〇六名で、合計二、三三六名であった。

式は、荘子邦雄理事長の祝辞と、小林海吉理事長の祝辞と、法学部学生自治会執行委員長の村中仁志くんが在校生祝辞を、さきに商学部商学科の菊地公明くんが入学にあたっての決意を述べた。荘子邦雄理事長は、「みずから頼むて深く考察する」という主体的態度の育成に心がけ、「学び」の心も、問うという学問の本質に少しでも接近するよう努力してほしいと述べた。さらには小林理事長は、本学園に今日まで受け継がれていく建学の精神を継承し、その伝道者となしてほしいと結んだ。また、村中君は、大学とはどういう所か、大学生活とは何かを先輩の立場から述べ、菊地君がこれからの四年間を送るにあたっての決意を述べた。最後に校歌を斉唱して式は終了。

引き続き、学部長・部長の紹介、後援会長挨拶、吹奏楽団による歓迎演奏の後、新入生オリエンテーション特別講演として、日本レジャー協会会長の松平康隆氏による「人生とスポーツ」と題する講演が行われ、多くの学生が感銘を受けた。



感動をよんだ松平康隆氏の講演

### 八三四名社会に巣立つ 昭和六十三年卒業式

三月十八日、北海道厚生年金会館において、昭和六十三年卒業式が挙行された。卒業生数は、商学部四七五名、経済学部二〇三名、人文学部一四〇名、人間科学科九名、英語英米文学科四一七名、法学部一八五名、商学部第二部四二名で、合計八三四名であった。

式は、荘子邦雄理事長の祝辞と、小林海吉理事長の祝辞と、法学部学生自治会執行委員長の村中明くんが在校生送辞を、さきに商学部第二部商学科の朝桐小蝶さんから卒業生送辞があった。最後に吹奏楽団の演奏で校歌を斉唱して式は終了した。

### 国際化・情報化の推進と 財政の安定化に向けて

「昭和六十三年決算」「平成元年度予算」

学校法人明和学園の「昭和六十三年決算」及び「平成元年度予算」が理事会で承認されましたので、報告いたします。

**昭和六十三年決算の概要**

昭和六十三年は、本学園が地域社会の発展に貢献し得る優秀な人材を育成するために、教育研究活動の充実発展とこれを支える財政基盤の確立に取り組みました。

①教育施設設備の整備  
②情報処理設備の整備  
③図書電子計算機システムの導入  
④野球場本部・バックスクリーンの新設  
⑤和・洋弓場の新設  
⑥情報処理教室及び教員研究室の改修工事

【Ⅰ】取支決算の概要  
消費取支決算の概要は第Ⅰ表のとおりです。

【Ⅱ】取支対照表  
消費取支対照表は第Ⅱ表のとおりです。消費取支対照表は、消費取支決算の概要は第Ⅰ表のとおりです。

昭和六十三年は、本学園が地域社会の発展に貢献し得る優秀な人材を育成するために、教育研究活動の充実発展とこれを支える財政基盤の確立に取り組みました。

①新大型電子計算機の購入  
②情報処理設備の整備  
③図書電子計算機システムの導入  
④野球場本部・バックスクリーンの新設  
⑤和・洋弓場の新設  
⑥情報処理教室及び教員研究室の改修工事

【Ⅰ】取支決算の概要  
消費取支決算の概要は第Ⅰ表のとおりです。

【Ⅱ】取支対照表  
消費取支対照表は第Ⅱ表のとおりです。消費取支対照表は、消費取支決算の概要は第Ⅰ表のとおりです。

昭和六十三年は、本学園が地域社会の発展に貢献し得る優秀な人材を育成するために、教育研究活動の充実発展とこれを支える財政基盤の確立に取り組みました。

①新大型電子計算機の購入  
②情報処理設備の整備  
③図書電子計算機システムの導入  
④野球場本部・バックスクリーンの新設  
⑤和・洋弓場の新設  
⑥情報処理教室及び教員研究室の改修工事

【Ⅰ】取支決算の概要  
消費取支決算の概要は第Ⅰ表のとおりです。

【Ⅱ】取支対照表  
消費取支対照表は第Ⅱ表のとおりです。消費取支対照表は、消費取支決算の概要は第Ⅰ表のとおりです。

#### 消費取支計算書 (単位：千円)

	昭和63年度決算	平成元年度予算
学生納付金	2,452,636	2,661,200
附属収入	160,405	120,000
寄附金	147,663	85,000
補助金	466,985	320,500
(内)経常補助金	(371,952)	(313,500)
収入合計	3,533,505	3,466,300
基本金組入額合計	△ 904,644	△ 728,000
消費取支の部合計	2,648,861	2,738,300
消費取支超過額(赤字)又は消費取支不足額(黒字)	96,095	0
翌年度繰越消費取支超過額	6,222	6,222

#### 貸借対照表

■第Ⅱ表 ■資産の部 (単位：千円)

	本年度末(昭和63年度末)	前年度末(昭和62年度末)	増 減
固定資産	9,280,158	7,769,227	1,510,931
有形固定資産	6,309,362	6,012,482	296,880
その他の固定資産	2,970,796	1,756,745	1,214,051
流動資産	1,899,825	2,745,242	△ 845,417
資産の部合計	11,179,983	10,514,469	665,514

負債の部

	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	2,892,182	3,254,476	△ 362,294
流動負債	760,732	733,663	27,069
小計	3,652,914	3,988,139	△ 335,225

基本金及び消費取支差額の部

	本年度末	前年度末	増 減
基本金	7,520,847	6,616,203	904,644
消費取支差額	6,222	△ 89,873	96,095
小計	7,527,069	6,526,330	1,000,739

負債の部・基本金及び消費取支差額の部合計

	本年度末	前年度末	増 減
負債の部・基本金及び消費取支差額の部合計	11,179,983	10,514,469	665,514

注) 減価償却額の合計額 1,351,913  
基本金の未組入額 1,051,001

- ①学部・学科の再編と新学部の設置
- ②国際交流の具体化と推進
- ③教育研究設備の拡充
- ④情報処理教育機器・実習機器の整備
- ⑤語学教育及び視聴覚教育機器の整備
- ⑥学生の自習的教育活動の援助
- ⑦特別研究費による研究機器の整備
- ⑧教育施設設備の整備充実
- ⑨教育研究環境の改善を図り、学園将来計画に対応した「第二期キャンパス整備計画」を策定します。
- ⑩事務システムの改善
- ⑪事務組織・機構の整備と事務の効率化を図り、教育研究活動への高いサービスの提供を行うために、学内総合情報システムの推進を行います。



# 平成元年度入試結果

## 志願者は前年度比四〇・六%の増

平成元年度の入試試験結果を報告します。

△志願者数▽  
志願者は、全体で前年度より一、七八一名(推薦入学一五五名、試験入学一、六一六名)増え、合計一、六九七名となり、四〇・六%の伸びを示した。

特に志願者が伸びた学科は、英語英米文学科六五・七%を筆頭に人間科学科五二・六%、第三部商学科四七・九%、さらに経済学科四二・一%と続き、全学部学科で志願者を伸ばした。

△合格者数▽  
合格者は、前年度より全体で六三名減少した。各学科別に見ると、商学科五名増、経済学科四名減、人間科学科二〇名減、英語英米文学科一〇名減、法律学科二六名増、第二部商学科八名増となった。

△入学者数▽  
入学者は、前年度よりも全体で六二名増えた。これを学科別に見ると商学科六二名増、経済学科四名減、人間科学科二〇名減、英語英米文学科一〇名減、法律学科二六名増、第二部商学科八名増となった。

△競争率▽  
競争率は、前年度より全体的に低下した。競争率が最も高かったのは、人間科学科で、競争率二・一七となった。

△浪人▽  
浪人は、前年度より一、七八一名(推薦入学一五五名、試験入学一、六一六名)増え、合計一、六九七名となり、四〇・六%の伸びを示した。

△就職率▽  
就職率は、前年度より全体的に低下した。就職率が最も高かったのは、人間科学科で、就職率九七・〇%となった。

# 父母との輪さらに広がる

## ＝父母懇談会、4会場で開催＝

室 蘭、青森 苫小牧、函館



熱心に聞き入る父母

今年で十二年目を迎える父母懇談会は、六月十六、十七日の両日の日程で行われた。ここ数年のあいだの各地域における参加希望の声を反映し、

てか、受け付け締め切り日の最後まで多くの父母より参加届が本学に届いていた。道内・外に設定された十五カ所の実施地域の中で、今年度は室蘭地域、苫小牧地域と函館地域、青森地域の四カ所における実施となった。第一日目は、室蘭会場(胆振地方婦人会館)と青森会場(青森県教育会館)の二班に分かれて行われ、二日目は苫小牧会場(苫小牧市民会館)と函館会場(函館市民会館)にての父母懇談会であったが、参加受けの段階より青森地域と函館地域の両地域の申込みが圧倒的に目立ち、それぞれの

会場には六十名以上の参加希望者が集まっていた。毎年六月(地方会場にて実施)と十月(本学会場にて実施)の二回ずつ定期的な実施を繰り返しているが、地方会場における出席率の高さはほぼ定着している。それは、学生達が親元を離れ一人暮らしをしているのを気遣い、心配する親の他に、最近では就職進路の相談が目的で参加される父母が多くなっている。毎回協力をお願いしている父母懇談会参加についてのアンケートにも、就職活動や就職先に関する質問や希望などを書添える父母が増えている。

## 地域との交流求めて

### 地域諸団体との懇談会開かれる

去る、四月二十五日午後六時より建学記念館において大先輩の文京台地域諸団体との懇談会が昨年に続き開催され、成功裡に終わった。

この懇談会は、地域との交流事業として企画され、本学学生がその地域へ、六〇〇名が居住し、生活全般にわたってお世話になっていること、さらに、学生の路上駐車による迷惑をかけていること等、日常的に深くかかわっている文京台地域諸団体の役員や江別市の関係役員の方々に大学の基本方針や姿勢を理解してもらったと同時に、要望を承る機会にしたいという趣旨から開催されたものである。

これまで地域との交流という点では、学生の迷惑駐車問題の解決に向けての限られた交流に留まっていたが、二昨年に実施された学園創立四十周年・大開学二十周年記念としての地域イベント「文京台秋まつり」の成果を機に、地域との交流の機運が高まり、地域運動会への協賛、敬老会への参加等、着実に交流が前進し、懇談会も交流事業のひとつとして、恒例化となる運びとなった。

今後、地域との交流が一層促進され、地域に親しまれる大学として存在することが期待されている。

## 平成元年度 入学試験結果

### ●志願者・受験者・合格者・入学者数

試験区分	学 科 名	志 願 者	受 験 者	合 格 者	入 学 者	競争率
試 験	商学科	1,349 (18)	1,313 (16)	323 (7)	216 (4)	4.1
	経済学科	1,752 (35)	1,691 (34)	298 (11)	151 (7)	5.7
	人間科学科	534 (125)	511 (118)	89 (29)	39 (11)	5.7
	英語英米文学科	256 (55)	246 (54)	78 (19)	30 (9)	3.4
	法律学科	626 (26)	603 (25)	308 (15)	186 (10)	2.0
	第二部商学科	112 (0)	103 (0)	80 (0)	50 (0)	1.3
	商学科	278 (11)	264 (10)	15 (2)	12 (1)	17.6
	経済学科	141 (9)	133 (8)	14 (0)	13 (0)	9.5
	人間科学科	94 (29)	89 (27)	5 (4)	4 (3)	17.8
	英語英米文学科	45 (17)	44 (16)	4 (2)	2 (1)	11.0
推 薦 入 学	法律学科	235 (14)	219 (14)	10 (0)	9 (0)	21.9
	第二部商学科	119 (4)	112 (4)	21 (3)	19 (3)	5.3
	商学科	202 (7)	202 (7)	174 (5)	171 (5)	1.2
	経済学科	171 (2)	170 (2)	136 (2)	135 (2)	1.3
	人間科学科	118 (31)	115 (31)	72 (22)	72 (22)	1.6
	英語英米文学科	32 (8)	32 (8)	29 (7)	29 (7)	1.1
	法律学科	58 (5)	58 (5)	58 (5)	58 (5)	1.0
	第二部商学科	47 (4)	44 (3)	41 (3)	37 (2)	1.1
	商学科	1,829 (36)	1,779 (33)	512 (14)	399 (10)	3.5
	経済学科	2,064 (46)	1,994 (44)	448 (13)	299 (9)	4.5
計	人間科学科	746 (185)	715 (176)	166 (55)	115 (36)	4.3
	英語英米文学科	333 (80)	322 (78)	111 (28)	61 (17)	2.9
	法律学科	919 (45)	880 (44)	376 (20)	253 (15)	2.3
	第二部商学科	278 (8)	259 (7)	142 (6)	106 (5)	1.8
	計	6,169 (400)	5,949 (382)	1,755 (136)	1,233 (92)	3.9

### ●社会人入学試験結果

学 科 名	志願者	受験者	合格者	入学者	競争率
人間科学科	4(2)	4(2)	3(2)	3(2)	1.3

①カッコ内は女子の内数。社会人入試結果も同様。  
②競争率(受験者÷合格者)。社会人入試結果も同様。  
③統計に社会人は含まれません。

## 公開講座 北海道文化論

日 時：9月4日(月)～9月9日(土)  
13:10～16:20  
場 所：本学視聴覚室(B館1階)

### (テーマ) 「北海道の現代芸術」

- 9月4日(月) 柴橋伴夫(とわの森三愛高等学校教諭) 現代芸術における空間について
- 9月5日(火) 小沢輝子(小沢輝子舞踊団主宰) 現代舞踊について
- 9月6日(水) 佐藤友哉(北海道立近代美術館) 現代彫刻について
- 9月7日(木) 圓山彬雄(アープURB建築研究所代表) 風土と建築
- 9月8日(金) 木村雅信(札幌大谷短期大学教授) 現代音楽について
- 9月9日(土) 中島洋(映像ギャラリーイメージ・ガレリオ代表) 北海道の映像の歴史と現在

笹岡征雄教授が二十五年にわたって発行してきた『上野研究』「挑戦」第百号の出版を記念する祝賀会が、四月九日北海道会館にて行われた。『挑戦』は、笹岡教授が北星男子高に赴任した時に、同校の陸上部部長として昭和四十年七月に創刊したのが始まり。以来、陸上競技の記録の変遷をまとめた。

「プレーメンの音楽隊」の殆どは空しく波に洗われ、この港町は、さまざまの近海運業に於ける外国人船員の積極的な導入が多相の訪れる人々に語りかけます。

復活祭を迎える頃、はじめて町中を彩る桜・ツツジやリラの薫りと共に、子供連れの旅行者が都心のあちこちに建つメルヘンの像の周辺や市庁舎前広場に目立ち始めます。港町ならではの美味しい魚料理を売り物にするレストランの喧嘩の中を、誰の強いドイツ語が飛び交うのはそのためかも知れません。ハメルンやツェルンに連なる「メルヘン街」の起点として有名なたぬきで、日本の若い旅人がこの町を駆け足で走り抜けて行きます。

## メルヘンの町プレーメン

商学部教授 本庄 智 宏

メルヘンが、暗い現実を背景に光の世界への小径を語るものだとすれば、プレーメンの民衆は、いまメルヘンを創作しているようにみえます。彼らが、自由と進歩を象徴するプレーメンレーテの歴史の継承のために政治的信条の違いを克服して協同するのも、またクリスタルナハトに象徴される人間の退廃の歴史を絶えず胸に刻み続けようとするのも、その創造作業の一部のように思われます。



# 全日本大学リーグ王座決定戦3位

軟式庭球部

—大学日本—へ大きく前進—

## 道内大学団体戦では十一連勝中

道内大学団体戦十一連勝と記録更新を続けている本大学軟式庭球部は、六月十日、十日に埼玉草加市で行われた「第九回全日本大学リーグ王座決定戦」において、見事決勝リーグ進出を果たし、全日本第三位という、近年では珍しい成績をおさめた。

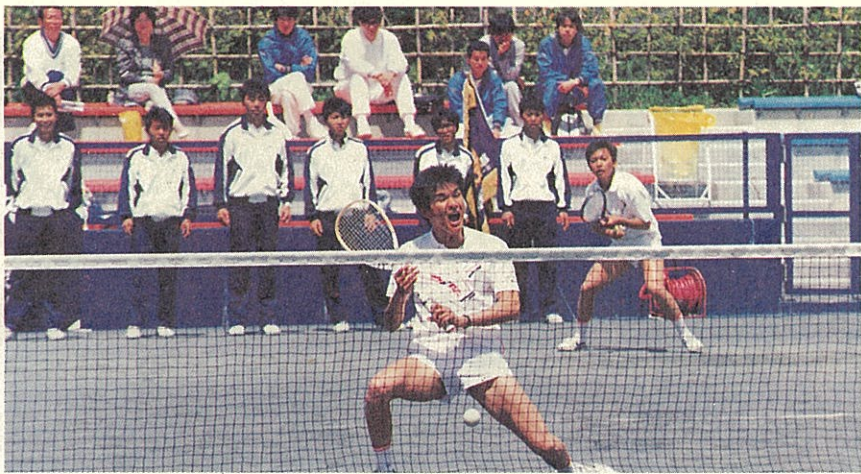
硬式野球部(昭和五十九年八月、全日本大学準硬式野球大会準優勝)についで成績をおさめた。

本大会に過去二回出場、いずれも〇勝二敗で予選落ちであったが、今回三度目の挑戦で初勝利を挙げるとともに、

北海道代表として初の決勝リーグであった。全国九地区の代表が集まり、予選と決勝をそれぞれリーグ戦で争った。予選は前年度三位の強豪福岡大学(九州地区)と、昨年も対戦して敗れている松山大学(四国地区)。結果は三大学とも一勝一敗の三つ巴となり、勝ちが

一ム数の差で予選一位、決勝進出となった。決勝リーグでは日本大学(関東地区)、天理大学(関西地区)とそれぞれ対戦したが、関東・関西の壁は厚く、残念ながら敗れた。部員は二十四名、軟式庭球部には、「道内大学団体戦三連勝」、「大学日本一」の二つの目標があるという。この前まではとてもなく

大きく、遠いように見えたが、今はその目標達成に向けて大きく前進。【予選リーグ・Cブロック】札幌学院大 二対三 松山大学 〇対一 福岡大学 三対二 松山大学 【決勝リーグ】札幌学院大 〇対五 日本大学 〇対五 天理大学 三対二 天理大学



春季全道大学対抗リーグ戦で、高野・福本組

## 大学王座決定戦を終えて

松村 泰隆 (軟式庭球部主将)

去年の全日本大学王座決定戦では、予選リーグで負けました。でも、自分達でもできるんだという自信をつけて帰ってきました。ですから、上位は狙っていいという気持ちはあります。技術的にはやはり本州の大学にはかなわないんです。問題は自分達のカラーを出せるかどうかです。一つはチャレンジャーでなければいけないという意識込み、もう一つはチームの団結力です。大学の軟式庭球の場合、団体戦がメインなんです。でも、団体戦は選手だけでも勝てません。というのも、

応援力というのが非常に重要で、実際の試合では出場しているペアの選手以外全員が、後ろに並んで応援するわけです。選手もその声に励まされて闘志を燃やします。全員が一致団結しなければいけない結果に結びついていると思います。もちろん、監督やOBの熱心な指導は言うまでもありません。そういう指導体制がしっかりしているのが、新入生も安心してやっていけるので、今は戻ってきません。後輩も一つ一つが最後の試合だと思って頑張ってください。(談)

## 連勝を続ける札幌学院大学軟式庭球部の戦績

- |                                  |                                |                                      |                                      |                                   |                                     |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 昭和六十二年六月<br>全道学生軟式庭球選手権大会(札幌・円山) | 昭和六十二年七月<br>北海道地区大学体育大会(札幌・北大) | 昭和六十二年八月<br>秋季全道大学対抗リーグ戦(苫小牧)        | 昭和六十二年十月<br>全道大学対抗軟式庭球新人選手権大会(札幌学院大) | 昭和六十二年五月<br>春季全道大学対抗リーグ戦(小樽)      | 昭和六十二年六月<br>全道学生軟式庭球選手権大会(札幌・北大、円山) |
| 昭和六十二年七月<br>北海道地区大学体育大会(札幌・北大)   | 昭和六十二年八月<br>秋季全道大学対抗リーグ戦(帯広)   | 昭和六十二年十月<br>全道大学対抗軟式庭球新人選手権大会(札幌学院大) | 昭和六十二年五月<br>春季全道大学対抗リーグ戦(旭川)         | 平成元年六月<br>全道学生軟式庭球選手権大会(札幌・北大、円山) |                                     |

## 新生陸上部スタート

### 好成績あいつぐ

陸上競技部はこの春、昭和五十八年に発足した札幌学院大学マラソン会と合併、本学の笹岡征雄教授が監督として就任し、新生陸上部としてスタートを切った。

マラソン会にとっても、五年間の単独の活動に終止符を打ち、新たな出発点となった。新生陸上部の活躍は、早くも大きな成果があがっている。まず、そのデビュー戦とな

つた五月十四日、北海タイムス社主催の全道一般・高校小樽・札幌間駅伝競技大会において、大学勢トップの五位に輝いた。一時は北星学園大学、酪農学園大学に百メートル以上引き離されたにもかかわらず、後半の健闘で過去最高の上位入賞を果たした。

続く二十、二十一日に札幌山手山競馬場で行われた全道学生選手権では、総合で三位に入り、百十m障害、一万mで

二名が優勝した。この二名は、六月初め、東京の国立競技場で行われた全日本学生陸上競技選手権に出場した。

さらに二十、二十八日、春の一連の大会最後となった札幌陸上競技選手権でも三千m障害で優勝したほか、千六百メートルで北大を取りつくと優勝を果たした。

マラソン会と合併して三カ月がたち、今後とも四十四人部員全員の活躍が期待される。

## 洋弓

### 男子、昨年に続き団体優勝

### 女子は準優勝

昨年度、総合グラウンドに完成した射場の下で、雪解けから練習に励んでいた洋弓部

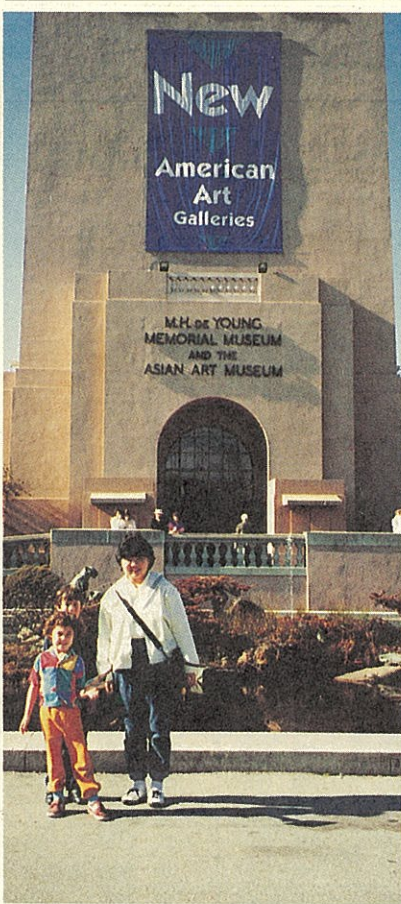
は、この春の大会で大健闘した。去る四月二十九日から五月十四日に行われた北海道学生アーチェリー王座決定戦で、男子が昨年に引き続き団体優勝、女子は準優勝を果たした。男子の二年連続団体優勝は快挙で、女子についても個人で優勝者を出すなど活躍が目立った。

これにより六月三日、北大を会場に行われた東日本プロテックに出場し、第四位に終わっている。

部員三十六人中、十九人が一、二年生といふこともあり、今後の成長が期待される。



## 海外研修



ホームステイ先の子供たちと

海外研修で体験したこと、感じ たことは、それまでの私に大きな変化をもたらしたと思います。特にアメリカの一家庭で過ごしたと

柳原 美紀

ホームステイ先の子供たちと

真に心がもつていければ形式なん

## 外国で気になる日本人

柳原 美紀



後列右端が諏訪原くん

海外研修で体験したこと、感じ たことは、それまでの私に大きな変化をもたらしたと思います。特にアメリカの一家庭で過ごしたと

柳原 美紀

ホームステイ先の子供たちと

真に心がもつていければ形式なん

## BBSって知ってる?

別館 諏訪原 浩くん 江会長 別館 諏訪原 浩くん

「まずBBSについて簡単に説明してください。」

非行に陥ったり、陥りそうになっている少年、少女たちの兄や姉、または良い友達になるのが目的のボランティア活動です。

英語でBig Brothers and Sisters Movementの略で、一九〇四年にニューヨークで始まりました。増加する不良少年少女を施設に収容するだけでは問題の解決にならない、と考えた人たちの奉仕活動が運動の起りです。日本では昭和十二年、京都の学生が中心になって組織し、法務省の協力を得て現在に至っています。

一本学(BBS)が生まれたいきっかけは?

元会長の高校の時にBBS活動をやっていました。

この大学にボランティアのサークルがないということでもり始めたんです。僕は大阪の出身なんです。非行というものを身近に感じていたので、大学に入る前からボランティアには興味がありました。大学のサークルとしてBBSがあるのは全国でも珍しいんですよ。

具体的にどんな活動を?

メインになるのは友達活動といって、保護監察所や児童相談所から依頼された子供達の友達になってあげることです。それから年に四、五回女子教護院を訪問して、レクリエーションをしたり、食事をしたり、学院祭のお手伝いをしたりしています。彼女たちも最初は構えていますが、普通の子どもと変わらないんですね。十五歳の女の子が「良い母親になりたい」と言って卒業していく姿を見て、非常に感動したことがあります。これからは、江州市の他の団体と協力して、地域に根ざした活動をやりたいと思います。(人文学部人間科学科二年)